

山上で涼しげに揺れるキレンゲシヨウマ=17日夕、六甲高山植物園



六甲山中 希少種涼しげに

キレンゲシヨウマ見ごろ

兵庫県内各地で厳しい残暑が続く中、神戸市灘区六甲山町の六甲高山植物園では、奥深い山に咲く希少な花「キレンゲシヨウマ」が見ごろを迎えている。朝夕は涼しい風も吹く山上で、ランプのような形をした黄色い花が揺れている。

ユキノシタ科の多年草で、環境省のレッドリストで絶滅危惧Ⅱ類。徳島県の剣山つばきなどで自生しており、宮尾登美子さんの小説「天涯の花」で紹介され、広く知られるようになった。

同園では約3千株を育てており、栽培数では日本一という。7月下旬に咲き始め、例年よりやや遅めの9月初旬ごろまで楽しめる見込み。愛知県から訪れた会社員の小出直毅さん(23)は「下を向いて咲く姿が、少しはかなげですね」。

9月7日は休園。同園 ☎078・891・1247
(吉田敦史)